

令和3年度岡山県地方独立行政法人評価委員会（第1回）の議事録

1 日 時 令和3年5月上旬～6月上旬（新型コロナウイルス感染症対策のため書面審議）

2 参加委員 萩原委員長、小田委員、清水委員、秋山専門委員、桑原専門委員

3 議 題

(1) 公立大学法人岡山県立大学 令和3年度 年度計画について

(2) 公立大学法人岡山県立大学 第3期中期計画の変更について

(3) 公立大学法人岡山県立大学 役員報酬の支給基準の変更について

4 審議内容

議題	番号	①質問・意見等	①に対する大学・事務局の回答	②追加・再質問内容	②に対する大学・事務局の回答
(1)	1	<p>年度計画について、全体的に良くできている印象だ。新型コロナウイルス感染症の影響は社会の様々な場面で影を落としており、大学としても教育研究の充実と感染拡大防止の両立に努めなければならない。</p> <p>各項目でのコロナ関連対策はそのまま生かしつつ、大学の全体方針や学生の行動規範など、新たに項目立てをしてはどうか。学生が前向きになれるよう期待する。</p>	<p>年度計画は中期計画に基づく項目立てのため、コロナ関連について新たな項目を追加するのは難しいですが、本学では「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置して、対応方針の検討や、HPでの情報・メッセージの発信等、状況に応じた対応を行っております。</p> <p>また、全学でコロナ禍における教育・研究機会の確保に取り組んでおり、引き続き、感染拡大防止との両立に努めてまいります。</p>		
	2	<p>昨年度と当年度の対面とオンライン授業の概要、できればその割合を期間別または月別に教えてください。</p>	<p>令和2年度の期間別の各授業形態の割合は、大学全体としては第1Qオンライン99%、対面0%、併用0%、第2Q（夏季休業含む）オンライン61%、対面30%、併用8%、第3Qオンライン47%、対面28%、併用25%、第4Q（冬季春季休業含む）オンライン44%、対面28%、併用28%でした。前期全体ですとオンライン77%、対面14%、併用8%、後期全体ですとオンライン51%、対面26%、併用22%となり、遠隔授業のみの割合は次第に低下し、併用または対面式の割合が増えていった形です。</p> <p>オンライン授業は、会議システムを使ったリアルタイム、動画を配信するビデオオンデマンド、資料と課題を提供する課題資料提供型オンデマンドならびにその組み合わせがあり、対面と併用した場合も同様です。学部間で授業形態には大きな差がありましたが、全体としてデザイン学部で対面式の割合が高かった結果となっています。</p> <p>令和3年度の分析はまだ行っていませんが、学期開始当初は学部教育の実験実習科目はすべて対面で実施予定としていました。現在緊急事態宣言下ですので、学生は原則入構禁止としてすべての授業をオンラインで実施しています。</p> <p>※文中「併用」については「ハイブリッド」と同じ意味となります。</p>		

議題	番号	①質問・意見等	①に対する大学・事務局の回答	②追加・再質問内容	②に対する大学・事務局の回答
(1)	3	[6] 保健福祉学研究科の成果目標について、過去実績が100%であるから目標についても100%が望ましいが、そうしないのはR6（最終目標）を90%にしていることが影響しているのか。	最終目標を90%にしているため、目標値を100%にしていません。		
	4	[6] 保健福祉学研究科の国家試験に保健師とあるが、[1] 保健福祉学部の成果目標に保健師が無いのはなぜか。	[1]の成果目標は保健福祉学部の成果目標であるため、大学院で養成している保健師のことは[1]では書いていません。		
	5	[9] オンライン授業におけるアクティブラーニングの方法を具体的に（例えば受講側で使用するソフトウェア等）教えてください。	代表的なものとしては、リアルタイム授業では、MS Teams、Zoomを用いたグループワークやプレゼンテーション、発問に対する反応ボタンの利用による理解度確認などを利用しています。オンデマンド授業では、MS Forms、Google Formなどによる理解度確認テスト、ミニツッパーパー、チャット機能による質疑応答などを行っています。		
	6	[9] 「ハイブリッド授業」とは何か。	対面とオンラインを組み合わせる授業をハイブリッド授業としています。講義の様子をオンラインで同時配信するなどし、同一の講義で対面で受ける学生と、オンラインで受ける学生が混在するパターンと、ある授業において日によって対面実施したり、オンラインで実施したりするパターンがあります。		

議題	番号	①質問・意見等	①に対する大学・事務局の回答	②追加・再質問内容	②に対する大学・事務局の回答
(1)	7	[12] 「見直し、改善」の具体策は何か。	<p>大学は、個別学力検査及び大学入学共通テストにおいて課す教科・科目を変更する場合は、2年程度前には予告することが、文部科学省から通知される大学入学者選抜実施要項で求められています（2年前予告ルール）。</p> <p>したがって、令和4（2022）年度入学の高校一年生から適用される新学習指導要領（※）に対応した最初の大学入試が令和6（2024）年から実施されることから、令和4（2022）年には個別学力検査及び大学入学共通テストにおいて課す教科・科目を公表する必要があります。</p> <p>なお、2年前予告を可能にするためには、国は、遅くとも更に1年前には、制度改革について、各大学に予告する必要があり、今年度の夏ごろには「大学入学者選抜実施要項に係る予定」の通知及び「大学入学共通テスト実施大綱に係る予定」の通知がなされる予定です。</p> <p>そうしたことから、上記の通知を受けて、本学でも今年度から具体的な見直し及び改善内容を検討することとしています。</p> <p>※新学習指導要領では、知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」を実現するために授業改善やカリキュラム・マネジメントを確立するとともに、高等学校において育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、教科・科目の構成を改善することとなっています。（国語科における科目の再編（「現代の国語」「言語文化」「論理国語」「文学国語」「国語表現」「古典探究」） 地理歴史科における「歴史総合」「地理総合」の新設、公民科における「公共」の新設、共通教科「理数」の新設、教科「情報」の新設等）</p>		
	8	[21] 就職支援の充実に関する各種支援についての強化とは、こちらの文面でわかるのですが、現在のコロナ禍で、例えば、オンライン面接をする企業もあると聞きます。今の状況に合わせた取り組みもあっても良いかと思えます。	<p>コロナ禍の企業の採用活動においてはオンライン面接が多用されています。昨年度、通信環境の悪い自宅アパート等に居住する学生のために、学内にオンライン面接をすることができるブースを整えました。引き続き今年度はその利活用を促します。また、既に就職支援自体もオンライン化が実現できており、今後オンライン面接の練習等をより広げていくこととしています。</p>		
	9	<p>「吉備の杜」創造戦略プロジェクトが文部科学省の公募事業で選ばれたのは、素晴らしい事です。地域活性化につながる人材の育成を令和2年～6年の5年間で事業を行う。山陽新聞にも掲載されて、期待しています。</p> <p>その中で単位と発表の要件で「創造戦略プロデューサー」授与とありますが、どの位の単位が必要でどの位の期間がかかりそうですか？</p>	<p>■単位 ①時事と歴史を読む、②知の理論、③地域資源学、④地域社会とビジネス、⑤データサイエンス、⑥アカデミック・プレゼンテーション演習が各1単位(15時間)で計6単位と、創造戦略プロジェクトの4単位(120時間)で、合計10単位の取得が条件となります。</p> <p>■期間 最長2年間で取得します。</p>		
	10	大学案内2022 色彩感覚がステキで明るい気持ちになります。	<p>コメントをいただきありがとうございます。今回リニューアルした大学案内をはじめ、様々な広報ツールについて、効果的なPRができるよう改善を続けてまいります。</p>		

議題	番号	①質問・意見等	①に対する大学・事務局の回答	②追加・再質問内容	②に対する大学・事務局の回答
(1)	11	[4] 県内の事業所に就職した学生の割合は、目標、実績ともに徐々に増加しているが、まだ開きがある。コロナ禍で県外への就職活動が困難なことを逆手に、より具体的な対策を講じてはどうか。	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。コロナ禍であっても、学生の職業選択の自由は保障しなければなりませんし、学生の主体性を最も尊重する必要があります。また、大学の職業支援の基本的な考えとしては、職業安定法33条の2「学校等の行う無料職業紹介事業」に則り、就職活動に必要な情報提供する、としております。</p> <p>その中で、本学では、県内産業、企業の魅力の発信、並びに、企業と学生の出会いの場の提供を積極的に行うこととしております。具体的な例としては、県内就職率の目標に達していない学部・学科の学生を主な対象として、下記の様な活動を実施いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県内の企業・団体との協働で副専攻「岡山創生学課程」および「吉備の杜」創造戦略プロジェクトを実施することによる、岡山の地域・産業が必要とする人材の育成（「吉備の杜」は、目標を達成していない栄養学科、情報工学部、デザイン学部が重点対象） ・県内産業構造の現在を知る授業科目「技術者と社会」を岡山県立大学協力会、SEOからの寄付講座として開講 ・県内企業の広告（学生会館2階と共通棟（北）の2階に設置）の掲示 		
	12	[6] 「グローバル化社会に対応できる人材育成に向けた海外研修の内容充実を進める」とあるが、本年度は海外に出向くのは困難と思われるので、国内で出来る研修について、検討いただきたい。	<p>海外に行くことが難しいため、オンラインにより海外の研究者と研究の交流ができる機会を設けます。2021年7月22日に韓国のウソン大学の柳漢守准教授による、韓国の児童虐待に関するオンライン・リアルタイムによる講演会・研究交流を予定しています。また、2021年度後期に香港理工科学大学の先生によるオンライン・オンデマンドによる講演会を予定しています。これら以外にも、ウィスコンシン大学教授のオンライン・リアルタイムによる講演会・研究交流なども企画中です。</p>		
	13	[9] アクティブ・ラーニングの導入率は、高い目標を設定しており、授業形式に応じた改善等に期待している。	<p>学習内容によってはアクティブ・ラーニングを導入しづらい科目もありますが、おおむね導入が進んでいると考えられます。またオンライン授業でも、マニュアルを作成・配布しており、アクティブ・ラーニングの導入が進むことが期待できます。</p>		
	14	[19] コロナ禍で、経済面とともに精神面でもサポートが必要な学生が増えていると思われるが、表面化しにくい問題がある。適切な学生対応マニュアルが作成されることを期待している。	<p>精神面でのサポートが必要な学生は表面化しにくいので、欠席数や連続欠席、レポートの未提出などを早期に把握して、教員間で共有し対応したことが、コロナ禍においても休学率（R1：1.8%→R2：1.5%）と退学率（R1：1.7%→R2：1.0%）の低下につながったと考えています。また、そのような学生の対応方法や学生相談室との連携方法などを示したマニュアルを作成することにしています。</p>		

議題	番号	①質問・意見等	①に対する大学・事務局の回答	②追加・再質問内容	②に対する大学・事務局の回答
(1)	15	[28] 地元企業の魅力の周知は大切だが、地域社会の課題解決に向けた提言・助言を行うための具体的な活動計画が不明瞭である。	<p>ご指摘の通りでした。具体的な活動としては、例えば下記のようなものを引き続き計画しております。</p> <p>【企業のニーズ、課題等を収集し、その解決に向けた活動につなげる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業人材育成事業 ・アクティブラボ ・岡山県立大学協力会会員企業訪問 <p>【地域のニーズ、課題等を収集し、その解決に向けた活動につなげる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携事業 ・オンラインコミュニティ「地域創生コモンズ」の構築と運用 		
	16	[32] TOEIC550点以上取得学生の伸び幅の目標の「0」はどのような意味でしょうか。	<p>「0」は入学時点でTOEICを受験して550点以上取得した学生が、2年次に再度受験してその得点差の平均が±0という意味です。変化が無いのでこれを「伸び幅」と表現するのは適切ではないかもしれませんが、入学時点から英語力が下がらないようにすることを目標としていました。</p> <p>就職試験や大学院入試を見据えて英語学習へのモチベーションが高まる3,4年生と異なり、大学2年生の英語力が下がる傾向は全国的に見られるものです。こうした状況を打開し、特に英語力の高い学生の能力をより高めるため、令和3年度からはAdvanced classを導入する予定です。</p>		
	17	[4] 副専攻「岡山創生学」の「成果を継承し、さらなる地域連携教育の充実・改善を図る」とあります。「岡山創生学」の継承すべき成果と、充実・改善すべき問題点はどのようなものですか。ざっくりで結構ですので教えてください。	<p><継承すべき成果について></p> <p>「岡山創生学」では、地域人材の育成を目的に、学部1～3年生の期間、地域を知り、地域に出て、地域の方々とともに、課題の認識・解決を通して、社会人基礎力を醸成することを目標とする副専攻の課程であり、この考え方や教育プログラムについては継承します。</p> <p><充実・改善すべき問題点></p> <p>上記成果は、あくまで「学士」としての目標設定であり、社会連携教育プログラムでした。このため、①専門性の観点からの目標設定や社会連携教育プログラムは不十分と言えます。また、②盛りだくさんの科目設定、異なる科目間で授業内容に重複等があったため、コンパクトさに欠くという問題がありました。</p> <p>そこで、①については、「吉備の杜創造戦略プロジェクト」の採択を受けて、3～4年生の期間、専門性に着目した地域人材育成を目指す副専攻「吉備の杜クリエイター課程」を開設し、より専門性の高い大学院向けとして副専攻「吉備の杜プロデューサー課程」を開設します。また、②については、社会連携教育に関する授業科目を整理・統合し、科目を削減することで、じっくり腰を据えて学ぶことのできる構成とします。さらに、「吉備の杜クリエイター課程」の開設を受け、開講時期の前倒しも実施していく予定です。</p>		

議題	番号	①質問・意見等	①に対する大学・事務局の回答	②追加・再質問内容	②に対する大学・事務局の回答
(1)	18	<p>[4] 大学案内とチラシだけでは、両者あるいは三者の関係性がよく理解できませんでした。</p> <p>・副専攻「岡山創生学課程」と「吉備の杜クリエイター課程」は別々の課程と考えてよいでしょうか。履修年次はずれていますが、レベル等両者に具体的な関係性はありますか。</p> <p>・また、学部における2つの課程と大学院における「吉備の里プロデューサー課程」との関係はどのようなもののでしょうか。</p>	<p>本学では、「吉備の杜」創造戦略プロジェクトの採択に伴い、既存の「岡山創生学」を含めて、入学から卒業・修了までの一貫した社会連携教育を担う副専攻制度をスタートしました。具体的には、1年生から3年生を対象とする「岡山創生学課程」、3年生と4年生を対象とする「吉備の杜クリエイター課程」、さらに大学院修士1年生と2年生を対象とする「吉備の杜プロデューサー課程」の3つの課程から構成される副専攻制度です。</p> <p>各課程で育成する人材の目標は、「地域で活躍できる人材」→「地域の未来を展望できる人材」→「現場で即戦力となるリーダーの育成」とステップアップします。なお、各課程で取り組む内容は次のように整理できます。</p> <p>■「岡山創生学課程」では、職場や地域社会の中で多様な人々と共に仕事をする上で必要な基礎的な能力とされる社会人基礎力を学びます。</p> <p>■「吉備の杜クリエイター課程」では、現場で生かす専門性を学び、企業の現場で社員と協働して学修し未来を展望できる人材を育成します。</p> <p>■「吉備の杜プロデューサー課程」では、企業現場で即戦力となりうる雑草型リーダーを地域や企業と協働して育てることを目的としています。</p> <p>なお、これら3つの課程はそれぞれ単独で履修することも可能です。</p>		
	19	<p>[5] 3ポリシーの実現レベルをそれぞれどのように検証する予定ですか。</p>	<p>それぞれのポリシーは、機関レベル、教育課程レベル、授業科目レベルでのアセスメントプランに基づいて検証することとしています。令和2年度設定したアセスメントプランは教学アセスメント指針に基づき再度見直しているところです。ディプロマポリシーの実現レベルは主観的な分析になりますが、入学時アンケートと卒業時アンケートの結果の比較分析までは1回完了しており、現在カリキュラムマップの点検結果に基づいたカリキュラムの見直しにとりかかっています。</p>		
	20	<p>[9] R2年度の実績が71.7%ですが、いまだにオンライン授業が行われている中で、どのようにして80%の目標を達成しますか。方策を教えてください。</p>	<p>オンライン授業マニュアルを作成・配布しており、教員のオンライン授業に関する理解が進むことでオンライン授業でのアクティブ・ラーニングの導入が進むことが期待できます。また、共通教育科目ではR3年度から新たに16のPBL科目が加わり、少人数によるアクティブ・ラーニング授業を行います。これらに加えて、FD部門の活動をとおして、アクティブ・ラーニングの導入を働きかけていきます。</p>		
	21	<p>[17] SA制度の計画が示されていますが、SAが担う内容としてどのような授業等を想定されていますか。また大学院生のTA（ティーチングアシスタント）制度はすでにありますか。</p>	<p>3学部10学科それぞれで専門的な教育をSAがアシストすることは難しいと思われるため、初年次教育やリメディアル教育を想定しています。なお、大学院生のTA制度はあります。TAはそれぞれの学科の実験演習などのアシスタントをしてもらっています。</p>		

議題	番号	①質問・意見等	①に対する大学・事務局の回答	②追加・再質問内容	②に対する大学・事務局の回答
(1)	22	[35] 学内でのSD研修は事務職員のみが対象ですか。また、FD研修の計画はありますか。	<p>学内でのSD研修のうちハラスメントに係る研修は、事務職員、教員とも受講対象です。</p> <p>また、新規教員に対して、学内の事務取扱についての説明を行う新任教員研修会を実施していますが、その際、本学の理念、本法人の運営、コンプライアンス、研究倫理教育について説明を行っています。</p> <p>FD研修については、7月末に外部講師を招き、シラバス（到達目標）の書き方の講習を実施予定です。それ以外にも今後必要に応じて実施を検討する予定です。</p>		
(2)		なし			
(3)		なし			